



# 問 消費税10%上げに反対すべきでは

## 答 地方6団体は、条件つきで引き上げを要望

樋下 周一郎 議員

**問** 地方にアベノミクスが届いていない状況、日銀の量的緩和で株価は上がって、大企業は大きな利益を上げているが、中小企業は思ったより良くなっていない。消費の動向も予想より落ち込んでいる状況を見れば、上げるべきではないと思うが、町長の見解を伺います。

**町長** 国民全体で広く負担する形の消費税が、高齢化社会の社会保障の財源としてふさわしいというのが国の考え方です。本年4月の消費税8%引き上げは、社会保障の充実と安定に充てられることになっていきましたが、それも十分でなく、さらに増税することは、住民の暮らしや経済に影響することも懸念されます。全国の知事、市町村長、それぞれの議長で構成する地方6団体は、地方財源の確保等の条件付で、消費税10%引き上げを6月に国に要望しています。この税率の決定はあくまで国が行うことですので、国の動向に注視していきたいと思えます。

**問** 安倍改造内閣がスタートし、新たな大臣枠も設けて、地方創生を目玉に、力強く推進していくことを打ち出しています。が、実質的な恩恵が地方に回ってきていないのが現状だと思えます。そういう状況を踏まえると、いろいろな形で地方の声を国に届けることが、これからは益々重要になってきていると思えますが見解を伺います。

**町長** 当然、地方の事情は地方でないとわからない面はありますが、増えていく社会保障費をどうするか、地方には財源がないという面もあります。国のほうが判断されるべきもので、今後、意見は申し上げていきたいと思えます。



**問** 町での交通事故、犯罪の発生状況は。

**生活安全課長** 交通事故は、平成23年45件、24年24件、25年44件です。犯罪件数は、平成23年114件、24年120件、25年128件です。

**問** 各種団体のパトロール状況について。

**生活安全課長** 平成18年から各種8団体の方に協力いただいて、役場職員との合同パトロールを通学路中心に、年間200日実施しています。セーフィタイムタウン五霞班10名は、毎月1回夜間パトロールを実施して、防犯対策に努めています。

**問** 子どもたちの通学路での問題はないか。

**教育長** 交通安全という視点からだけでなく、自然災害にも対応した安全対策に、通学路を見直しました。また、3校の危

# 問 町独自の安全、安心なまちづくり週間を設けては

## 答 関係機関・団体と必要性を協議したい



機管理マニュアルも新しく作成し直しました。

**問** 町独自に交通安全、防犯、防災について、改めて見つめ直す機会として、安心、安全なまちづくり週間を設けてはどうか。

**町長** 交通安全、防犯、防災。それぞれの分野の団体等と協議して、町としての必要性を見極めて行きたいと考えています。

**その他の質問**  
五霞IC周辺開発について